

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 12 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体的拘束をしないケアの実践。	身体拘束をしないケアを続ける。 身体拘束0を今後も続けていく。	利用者、一人ひとりの個性に合った支援をする。個人の生活のペースを守りながら束縛のない自由な暮らしを支援する。	2ヶ月
2	33	入所時に終末期の方針を共有していたが、本人が重度化してくると、家族の考え方が、変わってきた。	早い段階から本人・家族と話し合いを行い施設で出来る事を説明し、方針を共有する。	利用者に変化があった場合、そのつど本人・家族等と話し合う。 体調の変化等を医師から説明してもらう。	2ヶ月
3	21	孤立している方がいる。	他の方達と、関わり合い支え合って、楽しく暮らせるようにする。	その方が、出来る事を話し合い、他の方達と交流できるようにする。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。